

## 特別寄稿 「山岳民族の子らの煌めく笑顔に学ぶ」 ノンフィクション作家「柳田邦男先生」

「輝く学校広場」というキーワードを掲げて、ベトナムなどの山岳少数民族の子どもたちと日本の子どもたちをつなぐ活動に、精力的に取り組んでいる宍戸仙助先生から伺う話は、いつも私のこころの琴線をびんびんと震わせるエピソードに満ちている。

最近お会いした時に話して下さったエピソードは、格別のものであった。福島市内のある小学校の子どもたちが、東南アジアの学用品すら十分に買えない山岳少数民族の子どもたちのために、何かできないかと、自主的に募金活動をしてお小遣いを集め、宍戸先生に託した。宍戸先生は、そのお金で現地で文房具を購入して、山岳地帯に住む子どもたちに届けた。

ところが、その数年前、驚いたことに、現地の子どもたちは、震災直後、3.11東日本大震災で避難生活を余儀なくされている福島などの子どもたちが辛い日々を送っていることを知って、少しでも支援したいと、お小遣いや食料を持ち寄って迎えてくれたのだ。ある子は、年に1回だけ親からもらうお小遣いの全額1000ドン(Dong)を出した。通貨の価値がベトナムと日本では格差が大きく、1000ドンは、日本円にすると5円にしかないのだが、ベトナムの子どもにとっては“大金”だ。ある子は、おカネがないので毎日ご飯のおかわりをしないで、そのぶんだけ、親からお米をもらって持ってきたという。また、ある子は、やはりおカネがないので、親に話してにわとり1羽を持ってきたという。

AEFAの理事長が感激して受け取り、お米やにわとりは現地の人たちにお金に替えてもらった。こうして受け取ったお金は、49万2500ドンになった。その札束は厚さが3センチほどもあった。しかし、円に交換すれば、わずか1970円にしかないのだ。そのお金で、福島の被災児童たちのために何が買えるのか。ベトナムの貧しい子どもたちの煌めくように美しい思いやりのこころを生かすには、どうすればよいのか、宍戸先生は、思い悩んだという。思いついたのは、《おカネの額ではない。このベトナム紙幣の札束には、貧しくてもやさしさに満ちた子どもたちの思いがぎっしりと詰まっている。その美しい思いやりのこころを日本の子どもたちに伝えることこそ、教育者としての務めではないか。そのためには、この札束を両替などしないで、そっくりそのまま持ち、日本の子どもたちにベトナム山岳地帯の子どもたちの笑顔の写真とともに見せ、触れさせ、考えさせるのが最善だろう》ということだった。



その後、宍戸先生は、毎年、日本各地を駆けめぐっての小中高での出張授業や教師・保護者対象の講演で、このベトナム紙幣の札束を掲げるようにして見せ、「これは単なるおカネではない。この札束には、たとえ経済的に貧しく、まともな校舎や文房具がなくても、家族が協力し合って生き、困っている他者を助けようとするベトナム山地の子どもたちの思いやりのこころがぎっしりと詰まっているのです。」と語りかけている。そして、こう問いかけるのだ。「日本は経済的には豊かになったけれど、競争で勝ち抜くことや成績で優劣の差をつけられることが社会的な価値観になり、その陰では子どもへの虐待、子ども同士のいじめ、引きこもり、自殺などが多発している。一体可哀そうなのは、どちらの国の子どもたちなのだろうか。」と。

そう問いかけられると、ベトナム山岳地帯の粗末な校舎に学ぶ子どもたちと、日本の立派な校舎に学ぶ子どもたちとを比べたとき、どちらの子どもたちのほうが、顔が本当に輝いているだろうかと考えこんでしまう。山に住む子どもたちは、自分は家族や集落のためにどんな仕事なり役割なりを果たすべきかを、日常生活のなかで自覚していて、それゆえにしっかりと「自己有用感」を持っているという。「自己有用感」は、「自尊感情」に直結する。これに対し、日本では、「自己有用感」を持ってなくて、生きる意味を見出せないという子が多いことは、かねて指摘されてきた。

宍戸先生たちは、東南アジアの僻地で教育環境の整備の支援活動をしていると、現地の子どもたちから逆に元気をもらおうという。そうした元気を日本の子どもたちも持てるようにしようというのが、この国の学校を「輝く学校広場」にしようという活動の窮極の目標なのだ。

私が宍戸先生にはじめてお会いしたのは、10年余り前、先生が福島県矢祭町の小学校長として、絵本は子どものこころの発達に低学年でも高学年でも有効だとして、その実践に取り組んでいた時期だった。7年前に定年退職すると、名誉職的な職に就くのを一切断って、東南アジアの子どもたちの教育支援活動に身を投じたのだが、今やその活動を独自に進展させ、日本の教育界に新しい風を吹き込みつつある。「輝く学校広場」の活動を、私も微力ながら応援していこうと思う。(2019.9.5 記)

※ このエピソードは、理事長・宍戸が、アジア教育友好協会(AEFA)に勤務していたときのものであり、現在も出前授業や講演会などの際に、エピソードの一つとして伝えさせていただいております。(事務局より)



2012年5月13日、

理事長・宍戸の自宅にて

# ベトナム中部、ダナン市からの留学生。 ドアン・チャン・ビッチ・ゴックさん(14歳)【通称ビーちゃん】

シーエスアールスクエアの3つの大きなミッション(使命)の中に、日本と東南アジアの国々の子どもたちとの心の交流があります。そして、それは、近い将来、それぞれの子どもたちが成長し、互いの国をつなぐ「架け橋」となってくれることも願っています。

シーエスアールスクエアとして、ベトナム中部のダナン市の中学校で、日本語を学ぶ女子中学生(日本での中学2年生)を6月初めから7月初めまでの国際交流員として、福島に呼ぶことができました。

福島では、ホームステイをして、福島市内の桜の聖母学院中学校に体験入学をして学びながら一ヶ月間滞在しました。写真は、2年前、理事長がダナン市を訪問し、ビーちゃんの学校「タイソン中学校」で講演をさせていただいた時の、ビーちゃんと理事長です。



## 一ヶ月間の忘れられない思い出の数々

6月4日(火)に福島入りのあと、6月10日から学校に通いはじめ、すべての教科の授業に出席し、放課後は、バスケットボールの部活動にも参加し、日本の学校生活を満喫しました。

クラス担任の温かな配慮と同級生の支持的な雰囲気の中にいられることが、とても楽しかったようです。最も楽しいのは、内容が全部理解できる英語の授業、数学の授業も同じような内容ですが、答えの出し方が、ベトナムと違って面白いと、また、家庭科の授業では、縫い物の実習にも取り組みました。15日には、ホームステイ宅(飯坂町・金澤一秀様宅)で、ベトナム風揚げ春巻きを作って、支援家族のみんなにご馳走してくれました。



体験入学先の桜の聖母学院中学校が、試験期間中は、市内の小中学校で、一日体験入学をさせていただきました。庭塚小学校、そして、杉妻小学校などです。

杉妻小学校訪問の日は、梅雨の合間の暑い日でした。一校時めは、プールでした。ホームステイ先の金澤一秀先生の学級の水泳指導に交えていただき、ベトナムにはない、学校のプールを満喫しました。

ビーちゃんの留学の様子が、テレビニュースにもなりました。

KFB福島放送の取材で、7月5日の夕方、10分間ものニュースで放送されました。この放送では、その日の桜の聖母学院中学校での取材だけでなく、6月25日(火)の市長表敬訪問のことも報じられました。

「好きな食べ物は？」とのインタビューに、「寿司・刺身とラーメン」と流暢な日本語で答えていたのが印象的でした。



純粹多感なこうした時期に、互いに大きな体験としての「心の交流」ができたことは、この若い彼らの心に大きな記憶として残り、将来に向かって、素敵な思い出として、大きな意味と価値となってくれると信じています。

7月8日(月)の早朝に、成田国際空港から直行便で、無事に帰国し、我が家に帰りました。ミッション貫徹です。皆さんの励ましと応援、ありがとうございました。

## 出前授業・講演会の実施と予定（6月～来年3月末まで）

No.	月 日	曜	時刻	学 校 等 名	学年	学級数	生徒数	教科	参観者
1	6月11日	火	10:20	南相馬市立上真野小学校	全	6	88	道徳	15
2	6月22日	土	10:00	福島市立平田小学校	全	6	50	講演会	60
3	6月23日	日	9:10	三春町幼・小・中連合PTA講演会			20	講演会	60
4	6月28日	金	19:00	相馬市新地町青少年健全育成推進会議				講演会	20
5	7月4日	木	18:30	須賀川市大東地区3校1園PTA連絡協議会講演会				講演会	80
6	7月9日	火	12:30	東京後楽ロータリークラブ卓話				講演会	40
7	8月21日	水	14:00	新地町教職員研修会				講演会	63
8	8月23日	金	9:30	福島市立立子山小学校	全	6	12	講演会	10
9	9月11日	水	10:30	調布市立多摩川小学校	3	4	120	道徳	6
10	9月13日	金	14:20	二本松市立川崎小学校講演会	全	6	111	講演会	70
11	9月14日	土	10:30	武蔵村山市立第7小学校	全	18	575	講演会	70
12	9月18日	水	14:15	伊達市立大田小学校PTA講演会	全		74	講演会	85
13	9月25日	水	14:10	本宮市立和田小学校PTA講演会	全		78	講演会	75
14	9月26日	木	13:40	目黒区立東根小学校講演会	6	4	120	総合	6
（以下は、9月27日現在の実施予定）									
15	10月1日	火	10:30	気仙沼市立階上小学校	6	1	35	道徳	3
16	10月1日	火	13:35	気仙沼市立月立小学校	3-6	4	21	道徳	6
17	10月3日	木	10:00	気仙沼市立鹿折小学校	4-6	3	104	総合	6
18	10月5日	土	14:00	大阪府福祉施設ポレオ講演会			10	講演会	30
19	10月7日	月	13:40	島根県邑南町立市木小学校講演会	全	6	12	講演会	10
20	10月10日	木	10:00	和歌山大学附属小学校講演会	全	18	457	講演会	30
21	10月10日	木	14:00	和歌山大学附属小学校PTA講演会				講演会	300
22	10月16日	水	18:00	福島県医科大学講演会				講演会	160
23	10月17日	木	13:15	福島県立あさか開成高校	全	3	30	講演会	10
24	10月29日	水	12:30	東京江戸川ロータリークラブ				講演会	50
25	11月1日	金	13:15	Ha Noi, THCS 実験中学校講演	2	1	50	講演会	
26	11月6日	水	10:20	新地町立駒ヶ嶺小学校	全	6	127	講演会	50
27	11月8日	金	14:00	南相馬市立上真野小学校PTA講演会				講演会	80
28	11月14日	金	14:30	大田区立大森東中学校講演会	3	4	123	講演会	6
29	11月16日	土	14:30	福島市立信夫中学校講演会	全	18	637	講演会	80
30	12月4日	水	14:00	大田原市立黒羽小学校	4-6	3	58	講演会	70
31	12月6日	金	14:00	いわき市立植田東中学校	2	2	71	講演会	5
32	12月13日	金	14:00	千葉県四街道市立四街道西中学校	全	12	500	講演会	100
33	12月14日	土	15:30	鎌倉学園講演会	中3・高1	6	28	講演会	32
34	1月27日	月	未定	福島市立蓬萊小学校	6	2	48	総合	5
35	2月21日	金	未定	須賀川市立大東小学校講演会	全	7	181	講演会	75
36	3月11日	水	13:30	板橋区立志村第2中学校	全	11	362	講演会	20

今年度の出前授業と講演会の特徴としては、9月から11月に集中しており、10月に、南は島根県邑南町の小学校、そして、北は宮城県・気仙沼からの要望で出かけていることです、昨年大阪や和歌山は、昨年の縁が広がり、再度の訪問となっていることに感謝しております。

全国からの要望があり、小中学校やPTAでの講演だけでなく、福島県立医科大学での講演依頼などが、特徴的です。昨年と比べ、まだ、20回ほど実施可能です。11月から来年3月の間の実施のためのご紹介をよろしくお願いいたします。ご連絡をいただければ、パンフレット・理事長プロフィール・会報などを送らせていただきます。なお、10月以降の人数は、講師派遣申込書に記入された生徒数・参観者

【ラジオ番組「お母さん教室～話の広場～」】 8月6日・13日・20日、ラジオ福島での放送



これまで、2月と8月の年2回、それぞれ火曜日の9:40～9:55までの3回の放送、3年間、計12回の理事長・宍戸のラジオ福島での放送番組「お母さん教室～話の広場～」ですが、これからも継続となり、今年の8月にも、3回放送となりました。今回は、教師として忘れられない思い出と出会いの話です。もし、ご希望があれば、CD等でお送りできますので、ご連絡をお待ちしております。(左のCDは、2月の放送分のものです。)

■子どもの夢を応援して下さい■

シーエスアールスクエアは、東南アジア(ベトナム・ラオスなど)の子供達の教育環境整備支援に取り組むだけでなく、国内の小中学校や高等学校での講演会などを通して、日本に生まれ、何不自由なく生きられること、したいだけ勉学に励むことができることがどれだけ幸せなことであるか。また、人の役に立つ人間になるために勉強することの大切さなどを東南アジアの子どもたちの姿を通して実感するお手伝いをしたいと考えて活動しております。会員となって、活動を支援いただける方々をご紹介いただければ幸いです。よろしくお願いたします。



振込先:口座名義:「特定非営利活動法人 シーエスアールスクエア」

<みずほ銀行>銀行コード:0001 店番:715 福島支店 普通預金 口座番号:2084115

<ゆうちょ銀行>記号:18240 番号:32354231

ハチニハチ

※ ゆうちょ銀行以外から振り込む場合:店名八二八 店番:828 普通預金 口座番号:3235423

2019年4月～2019年9月の正会員・法人等(敬称略)、特別寄付者名

◆正会員◆

北海道	伊藤 孝介	福島市	上野 富男
宮城県	佐藤美奈子	(50音順)	金澤 一秀
栃木県	片瀬 英彰	同	木村 謙一
東京都	柳 裕之	同	斎藤 譲
同	中嶋 朋宏	同	宍戸 仙助
千葉県	石塚 勝巳	同	宍戸美紀子
同	太田 利彦	同	西坂 勲
神奈川県	佐藤 純子	同	林 克重
静岡県	大石 孝裕	同	引地 健夫
古殿町	岡部新一郎	同	本田 紀生
伊達市	斎藤 典子	同	室井 君男

◆特別寄付◆

宮城県	菊田榮四郎
愛知県	牧原 東吾
	あさひこ幼稚園
静岡県	大石 孝裕
東京都	伊藤 美波
同	志熊 昌宏
同	竹下 卓伸
同	時東 あみ
同	南雲 利明
同	森田 和信
千葉県	石塚 勝巳
神奈川県	鎌倉学園

神奈川県	佐藤 洋平
同	鎌田千瑛美
南相馬市	柿沼 孝明
同	田中 邦男
同	上真野小学校
いわき市	島田 荘
福島市	金澤 一秀
(50音順)	菅野八百子
同	常泉寺
同	富山 幸子
同	中野 美弥
同	庭塚小学校
	他、匿名希望1名

◆ CSR2往来 2019.4～2019.9 ◆

4月 ● 福島市市民活動活性化推進事業  
実施成果報告会 (9日)

5月 ● 第二期総会・ベトナム北部  
スタディツアー参加者事前研修会 (11日)

6月 ● 国際交流員招聘ホームステイ・体験入学  
(4日～7月8日)

6月 ● 国際交流員留学生、福島市長表敬訪問 (25日)

7月 ● 外務省、無償資金協力供与事業説明会 (18日)

8月 ● ベトナム北部、Tuyen Quang省、Lam Binh郡訪問  
スタディツアー(15名参加) (3日～11日)

● 理事長「ラジオ福島」出演 (6,13,20日)

● JICA仙台、NGOネットワーク研修会 (25日)

9月 ● 在日ベトナム大使館奥書証明事務手続き (11日)

● ミス・アースジャパン事務局打合せ (27日)

NPO法人 シーエスアールスクエア (CSR<sup>2</sup>) (輝く学校広場)

Challenge for School Revival & Corporate Social Responsibility

〒960-8136 福島県福島市八島町6-29 TEL 090-2604-4226 FAX 024-533-2612

URL: <https://csr2.or.jp/> E-mail: [shishido.csr2@gmail.com](mailto:shishido.csr2@gmail.com)